

～下記の研究を行います～

『ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症患者における 冠血管系疾患発症リスク因子に関する 単施設後ろ向き観察研究』

【研究責任者】循環器内科 シニアレジデント 竹内太郎

【研究の目的】 HIV 感染症患者さんにおいては、冠血管系疾患の発症リスクが高いことが示唆されており、1 次予防に資する知見の集積が求められています。本研究では、HIV 感染症患者さんにおける冠血管系疾患発症リスク因子について検討することを目的とします。

【研究の期間】研究許可日～2028 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までに HIV 感染症にて当院に通院もしくは入院された患者さんを対象とします。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：ありません。

情報：診療録から主に以下の情報を収集します。

- ・臨床所見（年齢、性別、身長、体重、併存疾患、社会生活歴等）
- ・血液検査所見（クレアチニン値、ヘモグロビン値、CD4 陽性 T リンパ球数等）
- ・画像検査所見（心エコー図検査、CT、MRI 等）
- ・HIV 感染症に対する治療内容（投与薬剤、治療期間、治療反応性等）

冠血管系疾患を発症し、経皮的冠動脈形成術（PCI）または冠動脈バイパス術（CABG）にて血行再建を施行された患者さんについては更に、下記をはじめとする情報を収集します。

- ・心臓カテーテル検査所見
- ・冠血管系疾患に対する投与薬剤、治療期間、治療反応性等
- ・PCI または CABG での治療内容詳細

【情報等収集開始日】2026 年 4 月 27 日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

本研究は令和 8 年度国立病院機構共同臨床研究課題（PI 育成研究）に採択され、研究の運営費用の支援を受けて実施されます。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シ-オーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められてい

るのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 循環器内科 シニアレジデント 竹内太郎